

在宅強化型老健の維持と 稼働率向上を目指して

医療法人耕仁会 介護老人保健施設 セージュ新ことに

○木村洋美 清水満 玉置菜津美 瀧澤祐希

平戸貴弘 安東圭子 根本忠典 加納英雄

施設概要



【所在地】

北海道札幌市北区

【開設】

平成9年10月20日

【定員】

通所リハビリテーション: 95名

入所: 100名

平成26年10月～在宅強化型老健へ移行

目標達成への経過

目標:在宅強化型老健の維持・稼働率99%

現状:相談件数の減少、退所者数>入所者数

現状把握:札幌市・石狩市内47介護老人保健施設へアンケート調査実施

アンケートの内容

- 所在地
- 入所ベッド数
- 平成26年12月～平成27年5月までの平均稼働率、在宅復帰率
- 入所ベッドを埋める上で苦労していること
- 介護老人保健施設同士の交流はありますか
- 貴施設は強化型老健ですか
- 日ごろの業務で困っていることや解決したいことはありますか

在宅強化型老健施設の稼働率

介護老人保健施設 S・Y	99.7%
介護老人保健施設 S・S	99.0%
介護老人保健施設 G・K	98.1%
介護老人保健施設 H・W	98.0%
介護老人保健施設 O・S	97.6%
介護老人保健施設 K・O	97.0%
介護老人保健施設 T・S	93.0%
介護老人保健施設 M・P	90.1%

※平成26年12月～平成27年5月までの平均稼働率

稼働率が上がらない要因

入所相談がない
薬価が高い
方向性が定まっていない



相談内容の課題

介助量が多い
転倒リスクが高い
医療ニーズが高い



現場との調整に
関する課題

各施設の特徴

介護老人保健施設A

在宅強化型老健、在宅強化型を維持したい

介護老人保健施設B

特養待機を受けている、平均稼働率を上げたい

介護老人保健施設C

空床が比較的多い、平均稼働率を上げたい

当施設

在宅強化型老健、在宅強化型を維持したい、平均稼働率を上げたい

特養待機者の例

病院



特養待機者入所相談



介護老人保健施設B・Cの
空床情報提供

当施設



近隣老健との取り組みの結果

33件の相談件数のうち6件が入所

- 適切な施設へ結びつけることができた

横の繋がりが強くなる

- 緊急時の入所相談や密な情報交換が可能となる

現場との調整に関する課題

1. アンケート結果を看護部長、介護係長、介護主任、フロアリーダーへ報告
2. 在宅強化型老健について、稼働率について勉強会実施



現場スタッフに対して空床への意識付け

転倒リスク者、食事介助者への対応

平成27年度入所ベッド稼働率

年度平均99.0%

4月 99.0%	10月 99.2%
5月 99.3%	11月 98.8%
6月 98.5%	12月 98.8%
7月 99.1%	1月 99.4%
8月 99.4%	2月 99.2%
9月 98.6%	3月 98.8%

まとめ

- 平成27年度在宅強化型老健維持
- 入所ベッド平均稼働率99.0%
- 今後も近隣施設、現場と連携していく